

お手入れ方法

ご使用後は、必ずその日のうちにお手入れしてください。長期間ご使用にならない場合は汚れをきれいに洗い落とし、十分に乾燥させてから保管してください。

*本体はステンレス鋼を使用していますが、塩分や食物、油分などの付着によりサビる場合があります。

本体(内側・外側)、フタキャップのお手入れ

●本体内側・外側は、ご使用ごとにお湯または水で薄めた食器用洗剤を使用し、やわらかいスポンジなどできれいに洗い汚れを落とし、よくすすぎ十分に乾燥させてください。

●フタキャップは丸洗いができます。スポンジなどできれいに洗い汚れを落とし、よくすすぎ十分に乾燥させてください。

*本体内側、フタキャップの汚れが落ちない場合には、酸素系漂白剤をご使用ください。(濃度5%、時間30分が目安)その際、フタキャップを閉めずにおこなってください。)

パッキンのはずし方、取り付け方

●先端が細くやわらかい棒(つまようじなど)を差し込んではずしてください。

パッキンが破損しないように注意してください。

*金属製の金串などは使用しないでください。パッキンが破損するおそれがあります。

●パッキンは溝がある方を下側にして確実に取り付けてください。

フタキャップ



本体内側にサビのような赤い斑点や、ザラザラしたものが付着した場合には

●サビのような赤い斑点が出来た場合

水に含まれる鉄分などが付着したものです。食酢を10%程度に薄めたぬるま湯を本体に入れて、30分ほど放置したあと、やわらかいスポンジブラシなどで本体内側をよく洗ってください。食酢が残らないようにきれいな水でよくすすぎください。

●ザラザラしたものが付着した場合

水に含まれるカルシウムなどが付着したものです。クエン酸を10%程度に薄めたぬるま湯を本体に入れて、フタキャップを閉めず3時間ほど放置したあとにやわらかいスポンジブラシなどで本体内側をよく洗ってください。

お手入れ上の注意

- フタキャップを本体にセットしたままお手入れしないでください。お手入れの際はそれぞれ分解した状態でおこなってください。
 - 本体やフタキャップの煮沸、および食器洗浄機や食器乾燥機の使用はしないでください。
 - シンナー、クレンザー、金属タワシ、化学雑巾などは使用しないでください。
 - 塩素系漂白剤は使用しないでください。
 - 臭いが気になる場合は、ぬるま湯に食酢(濃度10%)を加え、その中ですすぎ洗いをしてください。
 - 本体、フタキャップのつけおき洗いはしないでください。
 - お手入れのあとはパッキンが正しく取り付けられていることをお確かめください。
- *パッキンは消耗品です。ご使用後半年から1年を目安にご確認ください。消耗のある場合は、お買い上げの販売店で品名、品番をお確かめのうえ、お買い求めください。

品質表示	
品名	ステンレス保温・保冷フードポット 0.35L
品番	ARFP-350
実容量	0.35L
保温効力	61度以上(6時間)
保冷効力	9度以下(6時間)

材質の種類	内びん/ステンレス鋼
	胴部/ステンレス鋼
	フタキャップ/ポリプロピレン
	飲み口カバー/シリコーン
	パッキン/シリコーン

MADE IN CHINA

お問い合わせ

輸入販売元：株式会社 アトラス

〒192-0906 東京都八王子市北野町549-1 第2石坂ビル

TEL.042-660-8870 <https://www.atlas-scm.jp/>

受付時間 9:00~18:00 月~金曜日(祝日、弊社休業日を除く)

Atlas

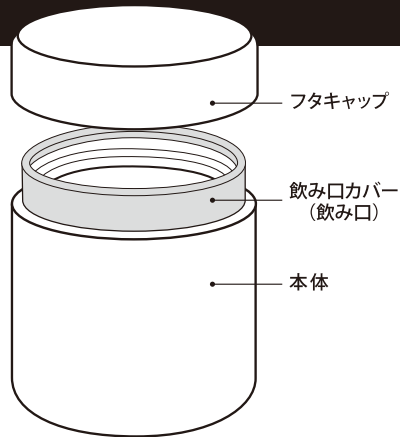
Airlist

エアリスト

超軽量ステンレスフードポット

取扱説明書

ARFP-350



このたびは、当社のステンレスフードポットをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用になる前にこの説明書を最後まで必ずお読みになり、正しく安全にご使用いただけますようお願いいたします。また、本書は万一ご使用中にわからなくなったとき、お役に立ちますので、いつでも見れるところに大切に保管してください。

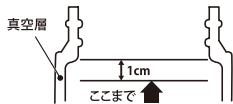
ご使用前に

- はじめてご使用になるときは、食器用洗剤でよく洗ってからご使用ください。
- 製品にガタつき、破損などはないか確認してからご使用ください。
不具合があった場合はそのまま使用せず、お買い上げの販売店または弊社にご相談ください。

ご使用方法

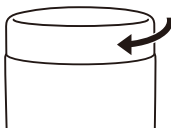
1. フタキャップをはずします。
フタキャップを矢印の方向にまわしてはずしてください。
2. 飲食物を入れます。
飲食物の量は、右記図の位置までにしてください。入れすぎると、フタキャップを閉めた時にあふれる場合があります。

* 本体に少量の熱湯・冷水を入れ、1分程度おきますと、保温・保冷に効果的です。



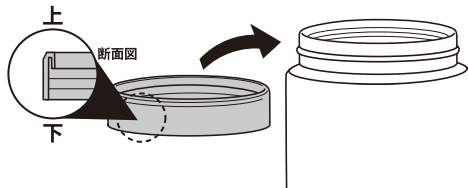
3. フタキャップを閉めます。
フタキャップを矢印の方向にまわして閉めてください。

- * フタキャップを閉める際は、飲み口カバー、パッキンが正しく取り付けられていることを確認してください。
- * フタキャップを閉める際、噛み合わせがゆるいと本体との間に隙間ができます。隙間がないようにしっかりと噛み合わせて閉めてください。



飲み口カバーについて

- 飲み口カバーを取り付ける際は、図のように上下の向きに注意して取り付けてください。



ご注意

- * フタキャップを開け閉めするときは、本体を立てた状態でおこなってください。絶対に傾けたり揺らしたりしないでください。飲食物があふれたり、漏れたりするおそれがあります。
- * 熱い飲食物を入れた場合は、絶対に振らないでください。吹き出すことがあります。
- * 熱い飲食物を入れた場合は、数十秒おいてからフタキャップをしてください。
- * 圧抜きをする場合やフタキャップが開きにくくなった場合は、やけどに十分注意して必ず本体を立てた状態で布（タオルなど）をあてて、ゆっくりと開けてください。
- * 熱い飲食物を入れた場合は、やけどに十分に注意してください。直接飲む場合は、急に傾けたりせずにゆっくりと傾けながら飲んでください。また、スプーンなどですくいながらお召し上がりください。

ご使用上の注意

- 飲食物の保温、保冷以外の目的で使用しないでください。
- お子様だけで使わせたり、お子様の手の届くところで使用しないでください。また、お子様の手の届く場所にはおかないでください。いずらにも注意してください。
- ストーブやコンロなど火気のそばに近づけないでください。
- 車の中など高温になる場所には放置しないでください。
- 倒したり、落としたり、ぶつけたり、製品に強い振動、衝撃を与えないでください。ぶつけたり、強い振動を与えると表面が凹み、保温・保冷効果の低下や漏れの原因になります。
- 熱い飲食物を入れた場合は、絶対に振らないでください。吹き出すことがあります。
- 飲食物を入れた状態で逆さまにしないでください。
- フタキャップは確実に閉めてから使用してください。確実に閉まっていないと飲食物が漏れるおそれがあります。
- フタキャップを閉める際は、パッキンが正しく取り付けられていることを確認してください。
- バッグなどに入れる場合は、必ず漏れが無いことを確認した上で本体を縦置きにしてください。また携帯電話、デジタルカメラ、パソコンなどの精密機械とは絶対に一緒に持ち運ばないでください。
- 製品の構造上、周囲の湿度が高いときにフタキャップに水滴がつく場合があります。ご注意ください。
- 運転しながらのご使用は大変危険です。絶対に使用しないでください。
- 車中や屋外など、傾いたり転倒したりする可能性のある場所では絶対に使用しないでください。
- 熱い（冷たい）飲食物を入れてください。飲食物は30～45度程度が最も腐敗ししやすい温度です。
- 熱いやかんなどを飲み口に当てないでください。
- 絶対に修理、分解、改造はおこなわないでください。
- 電子レンジのご使用はしないでください。
- 冷凍庫には入れないでください。
- 大きな氷を入れる場合は押し込まず小さく砕いてから入れてください。
- ドライアイス、炭酸飲料などは絶対に入れないでください。
- アルコール類は入れないでください。
- 飲食物を入れた状態で長時間放置しないでください。
- 飲食物はできるだけ早く一度にお召し上がりください。
- 腐敗しやすい、生ものや乳製品などは入れないでください。
- 本体やフタキャップ、パッキンに臭いが残る場合や、色移りする場合がありますが、品質上問題はありません。